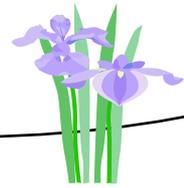


くめなん

令4年7月19日
久米南中学校便りNO.4
校長 下山 洋



いよいよ明日から夏休み！

令和4年度1学期が今日で終わりました。日本では新型コロナウイルス感染症の第7波に突入したかのように感染者が急増していますが、1学期は過去2年間実施できなかった3年生の修学旅行、2年生の職場体験学習を行うことができました。感染対策を意識しながらの実施でしたが、両学年とも十分に目的を達成することができたと思います。

さて、明日から夏休みに入ります。特に3年生はここから気持ちを切り替えて、この休みの期間を利用して進路について考える時間を持って欲しいと思います。また、1・2年生の皆さんも2学期に向けてのいい準備期間となるようにしてください。

この夏休みが生徒の皆さんにとって有意義な休みとなるよう以下のことを私から提案します。

【基本的な生活習慣確立のための七箇条】

- 一、朝、決まった時間に起きる。
- 一、朝食をしっかり食べる。
- 一、歯磨きをきちんとする。
- 一、元気なあいさつをする。
- 一、家事労働を分担する。
- 一、家庭学習の時間を決め、毎日机につく。
- 一、すべきことが終わったら、早く寝る。



コロナウイルス感染には十分気を付けて新しい生活様式を意識しながら生活してください。

その気にさえなればすぐに実行できることばかりです。基本的な生活リズムが崩れると健康維持にも問題がでてきます。2学期始業式（8月29日）を元気に迎えるためにも是非実行してみてください。

平和学習会開催！～平和を学び次世代へ～

7月12日（火）に、3年生が長崎修学旅行で学んできた『平和』についての発表会が平和学習会として体育館で行われました。戦争とは何か、平和とは何かについて学習してきたことを中心にしっかりとまとめてあり素晴らしい発表でした。1・2年生も3年生の発表をしっかりとした態度で聞いていました。この学習会をきっかけに、生徒のみなさんが将来にわたってこの日本が平和な国であるためにはどうしたらよいか？改めて考える時間を持って欲しいものです。

私たちは、日本が行った戦争や広島・長崎の原爆について学習を続けてきました。戦争の恐ろしさや苦しみ、とりわけ、原爆の熱線、爆風、放射線の被害によって、平和に暮らしていた多くの市民の命が奪われたことに圧倒されました。

そして、そんな悲惨な体験をされた被害者の方々の中に、自分よりも相手のことを優先して救助にあたった永井博士や悲惨な戦争や原爆が二度と繰り返されないために自らの体験を語り伝えておられる被害者の存在を知りました。私たちは、その姿から、心から平和を願い、強い信念を持って生きることの大切さを学びました。今回の修学旅行での学びをふまえ、ここ長崎の地で、次の3つのことを誓います。

- 戦争の恐ろしさや命の尊さ、平和の尊さを学び、次の世代に発信していきます。
- 自分や身のまわりの人を大切に、相手の個性を認め、尊重できる人になります。
- 日々の生活の中の小さなことにも感謝の気持ちを忘れず、今を精一杯生きます。

3年生が長崎の平和祈念公園で行った平和宣言の文章です。